

### J R ひがし労仙台地本

## 広めよう平和 守ろう自由と権利

## 権力の暴走を許さない8・8大集会



ご講演頂いた花鳥賊康繁さん

8月8日、山形市民会館で「広めよう平和 守ろう自由と権利 権力の暴走を許さない8・8大集会」を約40名の参加で開催しました。

主催者として武田委員長は、7月豪雨災害における対応、ボランティアやカンパの取り組みで被災者に寄り添っていく。広島と長崎に原爆が投下された8月のこの時期に、平和集会を開催し映像鑑賞と花鳥賊さんの講演を受け「戦争」と「コロナ禍」を考え、私たちの「命と生活と自由」を守っていこうと挨拶しました。

### 映像「人のあかし～ある憲兵の記録～」鑑賞

第2次世界大戦で中国に渡り、拷問や人殺しなど残虐な行為を行なった、元関東軍憲兵の土屋芳雄さんの証言を基にした演劇の映像を鑑賞しました。

土屋さんは敗戦後、ソ連の捕虜となりましたが、戦犯として中国「撫順戦犯管理所」に移送され、中国側の人道的な処遇を受ける事を通して、自発的に罪を認め（認罪）告白（坦白）し、「鬼」から「人」に戻りました。映像を通して、旧日本軍が中国で行った非人道的行為と、土屋さんをはじめとする戦犯の心の葛藤、変化を学びました。

### 山形県9条連 花鳥賊代表講演「コロナ禍における権力の狙い」

講演では、土屋芳雄さんに出会い、「鬼」から「人」に変わるいきさつを知って「元憲兵であった父に対して嫌悪感を抱いていたが間違っていた。もっと父の声を受け止めるべきだった」という話がありました。

また「日本人戦犯に対して中国＝周恩来首相は『殴るな、罵るな、ばかにするな』と人道的対応を指示し、死刑や終身刑判決を一人も出していない唯一の国であり、その対応のおかげで土屋さんはじめ帰国した方々は、『人』として真実を伝えることに半生を費やした」とありました。そして「今、全世界に広がっているコロナ禍によってどのような事が起こって、進められているのか、広く見ていく必要がある」「資本の利益まで失う核戦争はできない中で『新たな戦争』という視点でコロナ禍をみる」「国家権力にしか出来ないのが戦争である。戦争は平和な時に準備される」「コロナ禍だからと言って、憲法を活かす運動を休むわけにはいかない」という内容の講演を聴き、新たな視点で多くを学ぶことが出来ました。

その2に続く